

News Letter

ニュースレター



2024年12月12日

がんアライアワード 2024「ゴールド」および「ベストプラクティス」受賞について

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、第7回「がんアライアワード 2024」※において3年連続で「ゴールド」を受賞、また社内に向けて特に良い取り組みをした企業1社に贈られる「ベストプラクティス」を受賞いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後ともがん罹患者及びその家族が安心して治療に臨めるよう、寄り添ったケアと就労をサポートする取り組みをすすめてまいります。

※がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」（代表発起人：功能聡子、岩瀬大輔）が主催する賞



記

- 概要**

がんアライアワードは、がんを治療しながらいきいきと働くことができる職場や社会の実現に向けた民間団体「がんアライ部」が主催する賞です。各企業ががん罹患者の味方（アライ/ally）であることに加え、がんとともに働きやすい企業であることを宣言し、その中から優れた取り組みを表彰し、社会でノウハウを共有することでよりよい社会を目指すものです。
- 当行の受賞理由（がんアライアワード選考委員会コメント）**
 - ・闘病しながらも勤務を希望する方への疾病短時間勤務制度を2023年7月より開始
 - ・心理士（臨床心理士、公認心理師の資格保有）を常勤として新たに雇入れ、産業医・保健師ともに相談窓口が充実
 - ・人間ドックの費用補助を1人当たり8,000円増額し、個人の費用負担を軽減
 - ・検診結果管理システムを2024年10月より導入し、定期健康診断、人間ドックの受診結果を今後5年分閲覧可能
 - ・2024年4月に新たに女性専用の休憩室を設置
 - ・ユニバーサルマナー検定3級を全行員が取得し、合理的配慮の必要性について理解を促進

以上のような、フィジカル、メンタル両面についての取り組みを進めていること
- 当行の取り組み**
 - 健康状態や治療について相談できる環境づくり**
 - ・保健師による全職場面談、心理士が1年目目～5年目の全行員面談を実施。
 - ・産業保健スタッフ（産業医、保健師、心理士）と人事部門、健康保険組合とが連携し両立支援をサポート
 - 就労と治療をサポートする制度**
 - ・パートタイマー（35歳以上）にも乳がん・子宮がん検診の提供
 - ・がん又はこれに準ずる疾病罹患者で、勤務を希望する従業員に短時間勤務制度を導入
 - お客さまの健康経営のサポート**
 - ・中小企業の健康課題に対する伴走支援コンサルティングサービスの提供

以上